

人生で一番大切な言葉

結婚式の舞台裏から
内田伸子48

が2点、優秀賞が26点選ばれました。

最優秀賞は岩手県奥州市の出身の女性で、彼女は離婚歴のあるシングルマザー。プロポーズは付き合い始めて1年、7歳になるお子さんを間に川の字で寝ていた時に言われたそうです。私と結婚するより、子供のパパになりたい……という家族思いの所に感動して、即、結婚を決めたといいます。

インタビューでは、「私と同じような境遇の女性が、結婚や恋愛を前向きに考えるきっかけになればうれしい」とおっしゃっていました。

優秀賞には、敦賀市の未婚女性の方も入っていました。「はげても太っても、寝たきりになっても、100億の借金背負ってもずっと愛し続けられる自信があるよ」。という言葉でした。インターネットで「恋人の聖地」をキーワードに検索して頂くと、すべての言葉とエピソードが見られます。どれも心温まる言葉です。

ちなみに昨年の最優秀賞は、「今ならもれなく一生幸せ保証付きで、お買い得です!」でした。女性は「今なら」とか「もれなく」にはちょっと弱

いかも知れませんね。

最近「おめでた」で結婚を決めるカップルが4割といわれています。「おめでた婚」は結婚と子供の誕生と二つの幸せが一度に訪れるうれしい出来事ですが、その前に、お互いの意思を確認し合い、そして将来を約束するための大切な儀式である「プロポーズの言葉」を相手にきちんと伝えることはとても大切なことだと思えます。

そこで、4月24日に設立しました『福井の結婚をきちんと伝える会』でも、6月にプロポーズの言葉を募集しコンテストをすることになりました。部門は「これからプロポーズ」の部、また「今だから言いたいプロポーズの部」。後者はすでに結婚されている方からの募集です。

このコンテストを通して、プロポーズの大切さと、言葉の美しさを感じて頂きたいと思います。6月の第1日曜日は「プロポーズの日」。今年は何日ですね。「愛する人へ! 人生で一番大切なメッセージ」。きちんと、真心を伝えて下さい。

(ウエディング・プロデューサー)

『途中参加のパパだけど、本当のパパにして下さい』

これは、NPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市)が主催した「2008年全国プロポーズの言葉コンテスト」で最優秀賞に輝いた言葉です。5月27日、東京・六本木ヒルズの展望台、東京シテイビューで、表彰式がありました。

このコンテストは、今年で2回目。

「今だから伝えたいプロポーズ」の部門があり、「これからプロポーズ」の部門があり、全国から寄せられた671点の中から、今年是最優秀賞が1点、特別賞